

# 第51回静岡県空手道連盟選手権大会要項

## 静岡県中学校空手道選手権大会要項

静岡県空手道連盟 会長 服部 貞 誼  
競技委員長 田辺 豊

- 開催日時 令和3年5月30日(日)  
審判会議 8:00 試合開始 8:30
- 会場 静岡県武道館 静岡県藤枝市前島2丁目10-1
- 主催 静岡県空手道連盟  
協賛 (公財)全日本空手道連盟、静岡県武道協議会  
後援 静岡県教育委員会、(公財)静岡県体育協会、静岡新聞社・静岡放送
- 種目  
○静岡県選手権大会 組手競技(団体戦、個人戦) 形競技(個人戦)  
○中学生大会 組手競技(団体戦、個人戦) 形競技(団体戦、個人戦)

### 5 競技内容

#### 第51回静岡県空手道連盟選手権大会

本大会の組手競技及び形競技の3位までに入賞した者は、本年度の国民体育大会の県代表選手選考会の候補者とする。県代表選手選考会は、後日改めて開催する。

#### 1. 形競技

- 個人戦 ★エントリー数:制限なし
  - (1) 成年男子の部 (3) 少年男子(高校生)の部
  - (2) 成年女子の部 (4) 少年女子(高校生)の部
- 形の種類
  - 指定形:全空連競技規定付録17の指定形(第1指定形、第2指定形)
  - 得意形:全空連競技規定付録18の得意形
- 競技規定 全空連競技規定及び競技委員会打合せ細則に準じて行う。  
(大会開催時における最新の全空連競技規定に準拠)
- ①採点方式で行う。
- ②審判員は5人制とする。
- ③2名同時に演武する。但し、メダルマッチの決勝(FINAL)のみ1名ずつ演武する。
- ④グループ数、1グループの人数、形の数エントリー数により決定する。(別表1 参照)
- ⑤演武形は下記のとおりとする。(別表2 参照)

予選ラウンド	第1・第2指定形
メダルマッチ前のラウンド	得意形(繰返し不可)
メダルマッチ	得意形(未使用の形)

※エントリー数の3名以下の場合は、指定形又は得意形を演武できる。

エントリー数が4名～10名は、第1ラウンドで第1又は第2指定形を演武する。

- ⑥メダルマッチ(FINAL)において、演武は赤から行う。

#### 2. 組手競技

- 団体戦(3名編成、補欠(必須ではない)1名)
- ★エントリー数:1支部あたり 2チームまで  
選手は監督を兼ねることができない。また、高校生は団体戦に出場できない。

ただし、エントリー数が8チームに満たない場合は中止とする。その場合、参加費は当日返金する。

○個人戦 ★エントリー数:制限なし

(1) 成年男子 軽量級の部(体重65kg 未満)	(4) 成年女子の部
(2) 成年男子 中量級の部(体重65kg～75kg)	(5) 少年男子の部(高校生)
(3) 成年男子 重量級の部(体重75kg 超)	(6) 少年女子の部(高校生)

※組手個人戦成年男子の部出場選手は、開会式前に必ず計量を行うこと。

○競技規定 全空連競技規定及び競技委員会打合せ細則に準じて行う。

(大会開催時における最新の全空連競技規定に準拠)

①トーナメント方式で、3位決定戦を行う。

②競技時間内に8ポイントの差を得た者または競技終了時に得点の多い者を勝者とする。同点の場合、先取した者が勝者となり、先取した者がいない場合は主審及び副審にて判定を行う。

再試合は行わない。

③競技時間は、成年男子は 2分間(決勝戦は3分間)でフルタイム制、成年女子及び少年(男女)は1分30秒間(決勝戦は2分間)でフルタイム制とする。

④安全具

- ・全空連検定ニューメンホーⅥ(シックス)及び、Ⅶ(セブン)のみ使用可
- ・全空連検定拳サポーター(白色及びリハ-シブルタイプは使用不可)
- ・全空連検定ボディプロテクター(成年男子・女子、少年、稽古着の内側に着用)
- ・全空連検定シンガード・インステップガード(WKF 公認の可)
- ・ファールカップ(男子のみ)
- ・安全具を着装しない選手は出場できない。

6 参加資格 次の条件全てを満たしていることを参加資格とする。

・参加選手の所属する支部は静岡県空手道連盟に加盟していること。

・参加選手は(公財)全日本空手道連盟(以下、「全空連」)の会員であること。

※大会前日までに会員登録をしていない選手は、失格とする。

・成年の部出場者は令和3年4月1日時点で18歳以上であること。

・高校生の部出場者は令和3年4月1日時点で15歳以上17歳以下であること。

※大会申込書に全空連会員番号及び全空連公認段位の認定番号を必ず記入すること。

事務局で全空連に照合させていただきます。

7 参加料

成年団体戦(1競技・1チーム)	7,000円
成年・少年少女個人戦(1競技・1名)	4,000円
中学生 団体戦(1競技・1チーム)	4,000円
中学生 個人戦(1競技・1名)	3,000円

8参加料振込先

金融機関:清水銀行 中田支店 店番:308 口座番号:普通 2207334 口座名義:静岡県大会
--

9申込み期間 令和3年4月1日(木)～令和3年4月16日(金)(参加料振込期限)

・参加申込み期間内に入金が確認できない場合は申し込みを受け付けない。

※入金の際には必ず支部名で入金を行うこと。

・申込書は下記の申込み先まで郵送またはE-mail 送信すること。

(申込書の電子データを下記申込先のE-mail アドレス宛てに請求できる)

・静岡県空手道連盟HP(<https://www.seikuren.com/>)からも申込書をダウンロードできます。

※締め切り日以降の受付は一切行わない。

## 10 申込み先

静岡県空手道連盟選手権大会実行委員会 堀池 琢馬 住所:〒424-0057 静岡市清水区堀込525 アムールHaruta B204 連絡先:090-4793-4068 メールでのお申し込みはこちらまで→E-mail:jkf_shizuoka@yahoo.co.jp
---

## 11 大会係員及び審判員

審判員の不足が予想されます。各支部からご協力をお願いします。

## 12 組合せ抽選

- ・競技委員会にて行う。
- ・令和元年度本大会入賞選手4位までを第1シードから第4シードに順次割り当て、前回入賞者の申し込みが無い場合はシード順位を繰り上げる。

なお、中学生の部は令和元年度静岡県中学1、2年生大会の結果、少年(高校生)の部は令和2年度静岡県高校新人大会の結果(各階級の優勝者及び新人大会の出場種目が最多人数の階級の準優勝者)を参照する。

## 13 参加上の注意(平時からの注意点)

- ・競技当日の傷害等の応急処置は主催者が行うが、その後の責は負わない。
- ・参加選手はスポーツ傷害保険に加入しておくこと。
- ・体調不良者や興奮しやすい性格等の問題のある者は出場させないこと。
- ・空手衣の刺繍の色・紐の有無・形競技による礼の回数については全空連の規定に準じて行うので所属支部内で周知徹底を図ること(申し合わせ事項に規定する場合は、この限りではない)
- ・国民体育大会及び全日本空手道選手権大会に出場する選手は、全日本空手道連盟公認段位(高校生以上)が必要となります。全空連公認段位を取得していない者は、3位入賞しても県代表選考会に参加出来ません。

## 14 参加上の注意事項(新型コロナウイルス対策)

- ・大会後、新型コロナウイルス等への感染が判明した場合、直ちに支部長を通じて大会事務局へ報告すること。
- ・プログラムの配布は行わないものとする。(県連HPに掲載)
- ・入館の際には検温を行い入場する。(検温を行わないと入館できないものとする。)
- ・1度目の検温で37.5℃以上の場合、2度目の検温(脇下体温計)を実施する。  
その際、37.5℃以上の場合には静岡県武道館の規定により入場できない(出場停止)とする。
- ・事前に問診票に必要事項を記入し持参すること。(問診票なければ入館はできないものとする。)
- ・以下の項目に当てはまる選手は出場禁止とする。

ア) 37.5度以上の発熱

イ) 嗅覚や味覚の異常等

ウ) だるさ、息苦しさ等体調不良

エ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触者

オ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われるものがある者。

カ) 前日までにクラスターが発生した学校の生徒。

- ・表彰式は行わず、コートごと表彰を行うものとする。
- ・別紙集合時間を守って集合すること。※密をさけるため厳守すること。  
(種目別集合時間別紙参照)(集合場所、会場入口、会場出口は別紙参照)
- ・各コートに消毒液を湿らせた雑巾を複数枚用意し、足の消毒を行う。  
(雑巾は随時洗浄交換)
- ・形、組手ともにホイッスルは使用せず電子ブザーを使用する。
- ・形試合において、審判員及び係員は、マスク及びビニール手袋を全員着用する。
- ・組手試合において、審判員及び係員は、マスク及びビニール手袋を全員着用し、主審審判員はマスクの代わりにフェイスシールドを着用する。

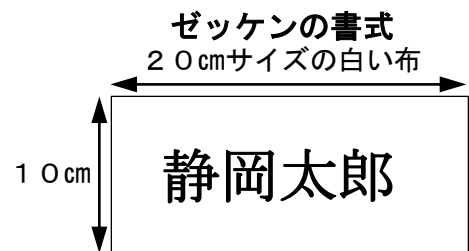
- ・選手は、試合中以外はマスクを着用すること。
- ・集合場所には道着着用の上、集合すること。  
※更衣室は使用できない。
- ・形名称や気合などは通常とおり行う。ただし組手試合中は安全具(メンホー)の口元に飛沫防止のため、透明テープを貼り防止に努める。(メンホー用シールド使用可)
- ・防具等の貸し借りはしないこと。
- ・係員の指示に従って行動すること。  
※係員の指示に従わない場合は選手の出場を取りやめることとする。保護者が指示に従わない場合においても同様にその保護者の選手(子供)が出場停止となる。
- ・新型コロナウイルスの今後の感染状況によっては、前日に大会中止もあり得るものとする。

#### 15 大会観客入館について

- ★大会開催1週間前までに、新型コロナウイルス感染状況を考慮して無観客及び条件付きで観客をいれるかを判断する。(大会1週間前までに参加支部及びHPIに告知を行う。)

#### 16 ゼッケン 今大会よりフルネームのみを記載。

- 各自ゼッケンを作成し稽古着の背に取り付けること。
- なお、取り付けに金属類は使用しないこと。
- ネーム色:男子は黒色、女子は赤色とする。



#### 17 駐車場・他

- ・会場の駐車場は使用不可。民間駐車場を利用すること。  
極力公共交通機関を利用されたい。
- ・履物は各自靴入れ袋等を持参し、個人携行品と共に自主管理すること。

#### 18 全国大会連絡

大会終了後、全国中学校空手道選手権大会申込書の配布及び説明を行うので、各種目の出場候補選手と支部責任者は本部会議室に集合すること。

### 静岡県中学校空手道選手権大会

- ・第28回全国中学校空手道選手権大会(8月20~22日 山口県)の選手選考会を兼ねる。
- ・本大会の組手競技及び形競技の上位入賞者の個人戦2名及び団体戦2チームを全国中学校空手道選手権大会の第一候補とする。  
ただし、団体戦は上位2チームが同一校の場合は、1校1チームの規定(全中)により1チームのみの出場とし、3位チームを繰上げとする。
- ・スーパーシード方式を採用する。(令和3年度 該当なし)

#### 1. 形競技

- ①ベスト8まではフラッグ方式、準決勝からは採点方式とする。
  - ・審判員は5人制とする。
  - ・審判は、競技点と技術点の総合評価点として採点する。(1回出し)
- ②個人戦は、2名同時に演武する。但し、メダルマッチの決勝(FINAL)のみ1名ずつ演武する。
- ③団体戦は、1チームごと演武をする。
- ④グループ数、1グループの人数(チーム数)は、エントリー数により決定する。(別表1参照)
- ⑤団体競技は学校対抗、登録選手5名までの3人制とし、男女混成チームは認めない。
- ⑥エントリー数

- ・団体戦 3名編成、補欠1名(必須ではない)

1 支部あたり 各種目2チームまで、同一中学校単位でチーム編成すること。

○中学生男子の部	○中学生女子の部
----------	----------

- ・個人戦 人数制限なし

○中学生男子の部	○中学生女子の部
----------	----------

⑦形の種類

- 基本形：平安またはピンアン初・2・3・4・5段、ゲキサイ1・2
- 指定形：全空連競技規定付録17の指定形(第1指定形、第2指定形)
- 得意形：全空連競技規定付録18の得意形

⑧競技規定 全空連競技規定及び競技委員会打合せ細則に準じて行う。  
(大会開催時における最新の全空連競技規定に準拠)

⑨演武形

	個人戦	団体戦
予選ラウンド	第1指定形又は基本形 繰返し可	第1指定形・第2指定形 基本形 (同一形繰返し可)
メダルマッチ前の ラウンド	第2指定形	
メダルマッチ	使用していない得意形	得意形・使用していない指定形

※エントリー数の3名(チーム)以下の場合、基本形、指定形又は得意形を演武できる。  
エントリー数が4名～10名は、第1ラウンドで第1、第2指定形又は基本形を演武する。  
3位決定戦は同じ形を行ってもよい

⑩メダルマッチ(FINAL)において、演武は赤から行う。

2. 組手競技

- ①トーナメント方式とし、3位決定戦も行う。
- ②団体競技は学校対抗、登録選手5名までの3人制とし、男女混成チームは認めない。  
なお、団体組手は2名でも参加可能とし、その場合は先詰めとする。

③エントリー数

- ・団体戦 3名編成、補欠1名(必須ではない)  
1支部あたり 各種目2チームまで、同一中学校単位でチーム編成すること

○中学生男子の部	○中学生女子の部
----------	----------

- ・個人戦 人数制限なし

○中学生男子の部	○中学生女子の部
----------	----------

④競技規定 全空連競技規定及び競技委員会打合せ細則に準じて行う。  
(大会開催時における最新の全空連競技規定に準拠)

(ア)トーナメント方式で、3位決定戦を行う。

(イ)競技時間内に6ポイントの差を得た者または競技終了時に得点の多い者を勝者とする。同点の場合は先取した者が勝者となり、先取した者がいない場合は主審及び副審にて判定を行う。  
再試合は行わない。

(ウ)競技時間は、全試合1分30秒間でフルタイム制とする。

(エ)安全具

- ・全空連検定ニューメンホーVI(シックス)及び、VII(セブン)のみ使用可
- ・全空連検定拳サポーター(白色及びリバーシブルタイプは使用不可)
- ・全空連検定ボディプロテクター(稽古着の内側に着用)
- ・全空連検定シンガード・インステップガード(WKF 公認の可)
- ・ファールカップ(男子のみ)
- ・安全具を着装しない選手は出場できない

別表 1 (形競技 エントリー数に対する各ラウンドのグループ数と必要な形の数)

出場人数	組まれるグループの人数	最大で必要な形の数	備考
2	1	1	すぐ決勝
3	1	1	すぐ順位決定戦をし、1・2・3位を決める
4	2	2	各グループの1位同士が決勝、2位同士が3位決定戦で3・4位を決める
5~10	2	2	各グループの1位同士が決勝、各グループの2・3位の4名が3位決定戦へ
11~24	2	3	2回戦(準決勝)に進む選手は合計8名 ※メダルマッチ前は2グループ4名ずつ
25~48	4	4	2回戦に進む選手は合計16名 ※メダルマッチ前は2グループ4名ずつ
49~96	8	4	2回戦に進む選手は合計32名 ※メダルマッチ前は2グループ8名ずつ
97~	16	5	2回戦に進む選手は合計64名 ※メダルマッチ前は2グループ8名ずつ

\*グループ人数は最大12名まで

別表 2(形競技 エントリー数に対する各ラウンドの選考人数と形の種類)

エントリー数	予選第1ラウンド	予選第2ラウンド	予選第3ラウンド	メダルマッチ (SEMI FINA)	メダルマッチ (FINAL)
2~3	グループ数 1 (順位決定) 得意形	—	—	—	—
4~10	グループ数 2 (2~5名) 指定形1・2*	—	—	各グループ 2・3位 得意形	各グループ 1位 得意形
11~24	グループ数 2 (5~12名) 指定形1*	グループ数2 (8名) (第1ラウンド 上位4名) 指定形2	—		
25~48	グループ数 4 (6~12名) 指定形1*	グループ数2 (16名) (第1ラウンド 上位4名) 指定形1*	グループ数2 (8名) (第2ラウンド 上位4名) 指定形2		
49~96	グループ数 8 (6~12名) 指定形1*	グループ数4 (32名) (第1ラウンド 上位4名) 指定形1*	グループ数2 (8名) (第2ラウンド 上位4名) 指定形2		

\* 中学生は指定形1と基本形

【形競技のラウンド例】

※エントリー数  
40名の場合

